

AGRA-JICA-JIRCAS
AGRA 総裁 アリス・ルウェザ氏特別セミナー
2025 年 8 月 22 日(金) 12:15～13:45@横浜

1. タイトル

AGRA 総裁 アリス・ルウェザ氏特別セミナー「アフリカにおける気候変動に強靱な農業食料システムの構築 — 科学と官民連携の役割

2. 背景と目的

アフリカの農業は、発展途上地域の中でも最大の土地面積を誇り、若い世代が多数を占め、農業部門は最も急速に成長しています。一方、過去数十年間、作物収量の向上は停滞し、食料輸入への依存度が発展途上国地域内でも最も高くなっています。この背景として、もともとの土壌の肥沃度が低いことに加え、農業投入資材の不十分かつ非効率的な投入が相まっていることが原因と指摘されています。人口増加に伴い土壌劣化と森林破壊が進むことで、アフリカの農業食料システムが気候変動を促進する要因に転じ、結果としてショックに対する脆弱性を高めるという悪循環が生じています。

今日、気候変動がますます深刻化する中、アフリカ農業は、2050 年までに倍増すると予測される人口増加を養うという困難な課題に直面しています。作物生産性の停滞を規定する制約を克服するための介入を通じて、気候変動に強靱な農業食料システムを構築することが、かつてないほど求められています。実際、科学的エビデンスに基づいた介入を通じ、小規模農家の持つ自然資本と人的資本の潜在能力を特定できれば、アフリカ大陸は活気ある市場へと変貌を遂げることができるでしょう。これらの機会を実現するには、小規模農家が健全な土壌と強靱な作物によって生産性を向上させ、官民連携を通じて急成長する農業市場へのアクセスを獲得できるような環境整備が喫緊の課題です。

AGRA（旧称：アフリカ緑の革命同盟）はアフリカ小規模農家の所得向上、生活の質向上、そして食料安全保障の向上を支援する農業イノベーションの拡大をミッションとするアフリカの機関です。本特別セミナーでは、AGRA 総裁のルウェザ氏をお迎えし、開発、研究、民間セクターの日本のパートナーと AGRA が連携可能な分野について特定し、アフリカにおける気候変動に強い農業食料システムの構築の戦略について議論します。

3. 主催者: AGRA-JICA-JIRCAS

4. 開催日時: 2025 年 8 月 22 日(金) 12:15～13:45

会場: TKP ガーデンシティ PREMIUM みなとみらい、ホール D

神奈川県 横浜市 西区 みなとみらい 3-6-3 MM パークビル 5～6 階

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-minatomirai/access/>

5. プログラム

AGRA 総裁の Ms. Alice Ruhweza 来日を機に、AGRA-JICA-JIRCAS 共催でセミナーを企画します。セミナーでは、行政・研究・民間関係者を対象に、AGRA 総裁から食料システム変革・気候変動対策・官民連携の分野において、アフリカにとっての最重要課題・AGRA 戦略をお話しいただき、参加者とパートナーシップ連携可能性についての対話機会を設けます。

Time	Slot	Speakers
12:15-12:20	開会挨拶	山口 博之 国際協力機構 (JICA) 上級審議役
12:20-12:25	AGRA 総裁の紹介	天目石慎二郎 アフリカの稲作振興のための共同体 (CARD) 事務局
12:25-12:40	AGRA 総裁による基調講演	Ms. Alice Ruhweza, AGRA 総裁
12:40-12:45	質疑応答	
12:45-13:15	日本のパートナーによるアフリカ 気候変動に強靱な農業食料シス テム構築への貢献分野紹介	浅沼修一 国際協力機構 (JICA) 経済開発部特別顧問 辻本泰弘 国際農研 (JIRCAS) プロジェクトリーダー アフリカ稲作システム 中村 智史 国際農研 (JIRCAS) プロジェクトリーダー アフリカ畑作システム Mr. Norbert.Pons 最高経営責任者 (CEO) Agro 2 Agri (A2A)
13:15-13:40	AGRA 総裁との対話セッション	Ms. Ruhweza and Speakers
13:40-13:45	閉会挨拶	小山 修 国際農研 理事長